



NBU

# LIBRARY NEWS



## スポーツの秋も忘れずに！

気温が下がるこの時期は、**基礎代謝量**が一番高くなり、**ダイエット**にもオススメ！  
スポーツが苦手な方にも**簡単に運動できる本**をご紹介します。

- ★日本航空客室乗務員の「美ストレッチ」
- ★痛みやゆがみが解消する20秒ストレッチ
- ★腹筋運動ではお腹は凹みません
- ★からだが変わる体幹ウォーキング
- ★「体幹」ランニング



『読書週間』の季節です。今年はどうな本を読みますか？  
2014年上半期の本学貸出ランキング上位10冊をご紹介します。  
読書の秋を楽しもう！

- ・永遠の0 / 百田尚樹
- ・あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。 / 岡田麿里
- ・嗤う名医 / 久坂部羊
- ・村上海賊の娘 / 和田竜
- ・しあわせなミステリー-伊坂幸太郎(他)
- ・私の男 / 桜庭一樹
- ・告白 / 湊かなえ
- ・果てしなき渴き / 深町秋生
- ・終物語 / 西尾維新
- ・さようなら、オレンジ / 岩城けい



## 津田先生おすすめの1冊



## 空を飛ぶ鉢の話を読んでみませんか？——『宇治拾遺物語』のすすめ

日本の古典の中で二大説話集と言え、平安末期の『今昔物語集』と鎌倉初期の『宇治拾遺物語』。力強い和漢混交文で書かれている前者に対し、後者は平明な和文調で、洗練も感じられます。岩波の日本古典文学大系や角川文庫は原文と注だけですが、新潮社の日本古典集成では部分的に現代語訳も施され、小学館の日本古典文学全集では原文・注の他に完全な現代語訳が付せられています。図書館で捜してみましょ。

『宇治拾遺物語』には200篇近くの説話が収められていて、そこで語られるのは破戒僧や盗賊の話、こぶとり爺さんや舌切り雀、ばくち婿入りのような民話(童話)、それに、托鉢(たくはつ)のための鉢を飛ばして布施を受ける聖(ひじり)の話のような仏教霊験談(れいけんたん)などです。中でも滑稽譚(こっけいたん)は特色があり、誰もが高校で習った「稚児の空寝」もその一つですが、その他に、愛する女の放屁(ほうひ)に出家を思い立つ男の話や、玉茎(たまき)の切除で煩惱を断ち切ったと称して托鉢する法師の話、あるいは僧がいい加減に作った仮名暦(かなごよみ)に大便をしてはいけない日(うんちの日)が何日も続けて設定されていたのを馬鹿正直(ばかちかじ)に守ろうとしてひどく苦しい思いをする新参の女房の話など、いわゆる“下ネタ”に関わる作品が数多くあって、現代人にも十分楽しめます。是非ともこのおらかな笑いの世界にトライしてみてください。

情報メディア学科教授 津田克巳

\*津田先生おすすめの1冊は2階『おすすめ図書』コーナーに置いています。

## 「ドイツ経済学・思想関係資料」コーナー紹介

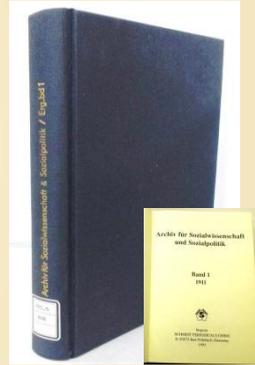
図書館1階書庫に、上記のようなコーナーができました。ここには、ドイツの経済学・思想に関する雑誌のバックナンバーや全集が配架されています。今年、20世紀を代表するドイツの社会学者、マックス・ヴェーバーの生誕150年に当たります。そこで、このコーナーから特にヴェーバーに関係する雑誌のバックナンバーを紹介いたします。

このコーナーには、4つ貴重なバックナンバーが揃っています。どれも、九州・沖縄地方の大学図書館で、文理大学以外で全巻所蔵しているのは、1館くらいしかない貴重な資料ばかりです。

なかでもヴェーバーと関係の深いのが、*Archiv für Sozialwissenschaft und Sozialpolitik* (『社会科学・社会政策アルヒーフ』) という雑誌です。

これにヴェーバー自身も編集者のひとりとして加わり、研究の拠点としました。社会科学の方法論や宗教社会学に関する彼の多くの論文が掲載されています。

一番有名な論文は、「プロテスタンティズムと資本主義の《精神》」(初版：1904-05年/20・21巻)です。岩波文庫にも改訂版の翻訳が収録されており、戦後日本の社会科学の発展にも非常に大きな影響を与えた論文です。経済活動と聖書との関係を追求する世界最初の研究となり、その論争はいまだに続いています。



このほかにも、岩波文庫に翻訳が収録されているヴェーバーの論文が、この雑誌に掲載されています。みなさんも一度ご覧になってください。\*詳細は図書館ホームページ (<http://lib.nbu.ac.jp/>) へ

経営経済学科准教授 古川順一

## 図書館 トリビア



本学図書館入口上に刻まれている『Η ΔΗΛΟΕΙΑ ΕΛΕΥΘΕΡΩΣΕΙ ΕΙ ΤΜΑΣ』の文字に疑問を持った人もいることでしょう。ギリシャ語で書かれたこの一文は、『真理はあなたたちを自由にす

る』という意味を持ち、この一節は『新約聖書(ヨハネによる福音書 8:32)』に由来していると、言われています。

国会国立図書館法の起草に携わった羽仁五郎が、ドイツ留学中に図書館の建物に刻まれていた『真理は人を自由にする』という銘文に感銘を受けて、国会国立図書館の設立理念となりました。そして、同じ理念に基づいて1971年に本学図書館が開設となりました。

図書館に刻まれる言葉は様々です。『汝自信を知れ(ソクラテス：立教大学)』『知恵の何たるかを読むことによって学べ(カトー：早稲田大学)』『肝心な点は感動すること、愛する事、望むこと、身ぶるいすること、生きることです。(ロダン：明治大学)』等、図書館ごとの色を感じられます。図書館に立ち寄った際には、どんな言葉が刻まれているか、図書館を見渡してみましょう。素敵な言葉に出会えるかもしれません。

## -11- November

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

開館カレンダー

休館	8:30~17:00
8:30~18:00	8:30~20:00

## -12- December

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

